

会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回川越市交通政策審議会
開催日時	令和2年8月18日(火) 午前10時～午前11時15分
開催場所	川越市役所本庁舎7階 第5委員会室
出席者	別添委員名簿のとおり
傍聴者	1名
欠席者	川越市社会福祉協議会 小宅 道夫 委員 川越市障害者団体連絡協議会 山田 誠次 委員 埼玉県川越警察署交通課 木暮 尚巳 委員
事務局職員	都市計画部 本間部長 交通政策課 間仁田課長、榎本副課長、三島主査、中村主査
会議次第	別紙のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度第1回川越市交通政策審議会次第 ・ 委員名簿兼出席者名簿 ・ 席次表 ・ 【資料1】 デマンド型交通かわまるの地区1における運行について ・ 【参考1】 地区1の乗降場一覧 ・ 【参考2】 かわまる運行後の交通空白地域の状況 ・ 【参考3】 デマンド型交通かわまるの利用状況等について ・ 【参考4】 川越市デマンド型交通かわまる運行業務(地区1)に係る公募型プロポーザルの選考結果について ・ 【参考5】 地方創生臨時交付金を活用した公共交通事業者への支援について

会議要旨	<p>【審議事項】</p> <p>○デマンド型交通かわまるの地区1における運行について</p> <ul style="list-style-type: none">・事務局より、①デマンド型交通かわまるの概要（これまでの経緯と運行区域など）、②地区3及び地区2におけるかわまるの利用状況など、③地区1における交通空白地域の概要、④乗降場の設定、⑤事業スケジュールについて説明し、地区1における運行について、事務局案のとおり進めることに決定した。 <p>【報告事項】</p> <p>○地方創生臨時交付金を活用した公共交通事業者への支援について</p> <ul style="list-style-type: none">・事務局より、地方創生臨時交付金を活用した公共交通事業者への支援について報告した。
------	--

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱書の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の審議会から新委員となる、嶋田弘二委員、千明政彦委員、最首洲子委員、根岸甚高委員に委嘱書を交付した（木暮尚巳委員は欠席）。 <p>3 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久保田会長からあいさつ <p>4 議事</p> <p>(1) デマンド型交通かわまるの地区1における運行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、①デマンド型交通かわまるの概要（これまでの経緯と運行区域など）、②地区3及び地区2におけるかわまるの利用状況など、③地区1における交通空白地域の概要、④乗降場の設定、⑤事業スケジュールについて、資料1、参考1から3に基づき説明。 <p>(以下、意見及び質問など)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回かわまるを始めようとする地区1において、平成25年度及び平成26年度に実証実験を実施したと思うが、その際に地域から出た良かった点や悪かった点など意見や提案があれば教えてほしい。 ・また、実証実験に対する市の評価はどのようなものだったか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度は短期間、平成26年度はある程度長期間で実証実験を実施したところである。その際にアンケートを実施したところ、良かった点としては、芳野地区は川越シャトルが廃線となったが別の交通手段ができて良かった、また上福岡の商業施設に行くことができ便利だったというものがあつた。 ・また、悪かった点としては、乗降場の設置箇所が少なく、乗降場まで行くのが大変だというご意見をいただいたところである。 ・実証実験に対する市の評価としては、利用者が少なかったというもので

委員	<p>あり、実証実験でいただいた意見も踏まえ、今回の本格運行にあたっては乗降場をこまめに設定し、利便性を上げるよう改善したところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験の時の芳野地区における利用者の声としては、やはり乗降場が少ないという意見や使いにくいという意見だったかと思う。今後も意見をしっかりと聞き、改善を続けていただきたい。 ・地域内乗降場について、自治会長に提案して意見を伺い、場所や名称の変更もあったとのことだが、コロナ禍の中で地域の意見を聞くことは大変だったと思う。地域の意見については、あくまでも自治会長の意見を反映したものか、それとも一人でも多くに広く意見を聞いたものだったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長に提案した後、3週間程度の検討期間を取ったところであり、その間、自治会内で相談されたとは思いますが、詳細については把握していない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、利用されていく中でさらに改善すべき意見が出てくることもあるかと思うので、それはしっかりと聞いていただきたい。 ・過去に実施した住民説明会の回数やその内容はどのようなものだったか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地区3や地区2においては、市民センターで平日の夜と休日に各1回ずつ開催した。地区1においても同様の予定である。 ・また、交通空白地域の自治会に対しては、自治会単位で説明会を開催するか相談し、希望があれば説明会を実施したところである。地区1においても、自治会単位で説明会の希望があれば、開催する予定である。 ・説明会の内容については、サービスの概要や申請方法、利用方法などを中心としており、質疑に多くの時間をとっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地区3の説明会に参加したことがあるが、説明会の時にはすでに乗降場が決まっていて、その場で意見を出しても遅いとのことだった。説明会における意見を反映できるようにしてもらえればよかったと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降場の設置場所については、説明会における意見をすべて反映することは難しく自治会長に地域の意見を集約する形を取らせていただいたところであり、ご理解いただきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまるについて聞く意見として、乗降場のサインが小さくて分かりづらいということがある。高齢者の利用が多いため、もう少し大きくしてもらいたい。 ・高齢者にはかわまるのしくみが分かりづらいので、すでに運行されている地区でもまた説明会をやっていただきたいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降場のサインはA4サイズであり、遠くからだ小さくて分かりづらいことは認識しているが、一方で大きくするとコストの問題も出てくる。 ・また、乗降場については一度覚えれば、2回目以降の利用では場所が分かると考えている。 ・さらに、商業施設など大きい敷地の乗降場には、サインポストを設置しているところでもある。 ・乗降場の場所が分かりづらいということであれば、交通政策課に相談してほしい。 ・利用方法などご要望があれば、こちらから伺い説明させていただければと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・電話予約をする際、利用する乗降場を番号で伝えなければならないと思い、利用をためらう人がいるので、乗降場の予約は名称のみでもできることをきちんと説明会で伝えてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地区3及び地区2の登録者数について、登録者のうち、実際に交通空白地域に住んでいた登録者の数を把握しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・把握していない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば地区3で言うと、かわまる運行前の交通空白地域人口は約21,000人、運行開始後は約4,000人となっており、交通空白地域が改善された人のすべてが登録すれば約17,000人の登録があるはずだが、実際は地区全体で7,000人の登録者数となっている。 ・また、実際は交通空白地域でない人も登録・利用しており、本質的には交通空白地域人口はここまで下がっていないことが容易に想像できる。 ・交通空白地域の住民の移動を支援するという趣旨で本庁管内を運行区域から外していると思うので、交通空白区域の住民を救い上げていることが分かるように意識してほしい。 ・そのようにしないと、交通空白地域ではない本庁管内でも運行を望む意見が出てくるだろう。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在でも、地区3や地区2の登録者は増えているのか ・ 運行を開始するタイミングで対象地区に申請書を配布するため、運行開始当初の登録が多いことは確かだが、現在でもわずかながら増えている。 ・ 例えば、広報川越に他地区の運行開始する記事が掲載されたタイミングなどで問い合わせも多くなり、登録に繋がっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通空白地域人口の改善が本事業の成果でもあるため、交通空白地域だった人がどの程度登録しているのかを意識していただき、登録者数を増やす取組を引き続き行っていただきたい。 ・ また、全ての人が登録された時に輸送能力が足りているかどうかという話が出てくると思うが、現時点のかわまるの輸送能力はどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の稼働率（乗車時間と迎車時間を足したものを運行時間で除したもの）について、地区3では47.6%、地区2では33.9%となっている。 ・ まだ車両には余裕があり、すぐには2台目の投入を考える必要はない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当然、2台目の投入はまだ早いと思う。登録者数や利用者数を増やす取組をきちんとしていただき、地区1のスタートをしっかりとっていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ かわまるの稼働率はそこそこかもしれないが、利用したい時間帯は集中しており、予約が取れないことがある。 ・ また、2週間前から予約したのに、後から予約が入った結果、到着する時間が延びてしまい利用をやめた人が多い。 ・ そのようなこともあり、また地区3は広いため、車が1台では足りないと感じる。 ・ 乗り合うためのワゴン車ではあるが、実際にはあまり乗り合わないし、大きい車では狭い道は入れず不便だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ かわまるの運行目的である交通空白地域の利便性の向上という本来の趣旨を忘れてはいけない。 ・ 高齢者の方や障害者の方の利便性の向上のためのサービスとなると、本庁管内でもやるべきだという意見が出てしまう。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ このような議論は、制度設計時にもあったと思う。かわまるの本来の目的を忘れることのないようにしていただきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1の4ページ、利用者数のグラフについて、昨年の7月から減っていると思うが、その理由や対策を教えてください。 ・また、直近では利用者数は前月を上回っているとのことだったが、利用を促すことはコロナ禍におけるいわゆるステイホームとは相反することになるが、その辺をどう考えているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の減少については、理由は把握していない。 ・コロナ禍における運行について、市としては車内の消毒や運転手の健康管理の徹底など利用者の安心・安全に配慮しつつ、かわまるの利用は進めていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地区1の古谷地区の説明会はいつか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・古谷市民センターにおいて、8月20日（木）、8月23日（日）に実施する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、地区3や地区2において、開発等があり人口のバランスが変わった場合、かわまるの新しい乗降場の設置については、市から提案するのか、それとも地域から意見を出してもらうのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・可能性としては両方あると思うが、柔軟に対応していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後路線バスが廃止になって新たな交通空白地域ができたり、それとは反対に、例えば南古谷駅北口の開設により新たなバス停ができる際など、交通網の状況が変化した際にはどのように対応するか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新河岸駅の東口が開設された際には、川越シャトルを見直したところであり、今後、南古谷駅北口が開設すれば、川越シャトルの運行も変わることが想定される。そのようなことがあればかわまるについても見直す必要はあるだろう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・サインについては、先ほど小さいという意見もあったが、市民サービスの向上のため、A3サイズなど見やすくするための工夫をしてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いかに周知をして、登録・利用を促していくかが大事だと考えているので、あらためてかわまるのサービスについて市民に見えるよう周知を図

議長	<p>っていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サインの大きさについては、掲示場所を提供してくれる側の意見もあるため、画一的にサイズを決めるのではなく、できることから進めていきたいと思う。 ・川越シャトルについては何度も見直しを重ねて、現在の形となっているところであり、かわまるについても、常に、柔軟に見直していかないと考えているところであり、その点を事務局にお願いしたい。 ・地区1の運行については、事務局案のとおり進めることとしてよろしいか。
委員一同	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし（原案について承認） <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、地方創生臨時交付金を活用した公共交通事業者への支援について、参考5に基づき説明。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまるについては、今後さまざまな意見を取り入れ、見直していくと思うが、今後の審議会のスケジュールはどうなっているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本審議会に必要なタイミングが来たら開催したいと考えているが、今年や来年度の予定は現時点では決まっていない。
	<p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>